



THE Y'S MEN'S CLUB OF



Osaka-Kawachi

2007年2月報

Vol 376

2006~2007年度【主 題】

クラブ主題 「すべての活動は EMC に続く」

阪和部主題 「この先を見よう!!」 広野にワイズの旗を立てよ!

西日本区主題 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」

One for all、all for one

アジア主題 「Participation and Inspiration」 参画、そして感動を!

国際主題 「Active Participation with Love」 愛をもって積極参加

望月 強

田中惟介 (大阪河内クラブ)

森本榮三 (大阪高槻クラブ)

Lee Joo-Min(韓国)

Choi Han-ki (韓国)

【今月の聖句】 マタイによる福音書 7章7~8節

求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つけられる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。

~ 熱心に努力すれば、必ず道は開かれることを信じよう ~

「そんなに働いて・・・」

横田憲子



“そんなに働かなくても気楽な生活しはったら”と子供の頃より耳にしている現在も聞かれる言葉である。それは田舎でも都会でも聞くことが出来る。

でもなぜか耳障りに聞こえてくる。以前は金持ちへのひがみから。今は自立している人へのひがみと取っている。

家の中で囲碁や将棋をしながら時間つぶしをするような生活を他人にお薦めするのはどうかと思っていた。又、自分の手足として孫を支配下に置き、これからは楽をするのだと豪語して命令する喜びを持っているのでしょう。でも楽な生き方を選択されることが周りの人にとっても幸せなことなのかとついつい反発をする。

現在は情報が行き渡り、忙殺された生活からある日突然解放されると、生きる意欲がなくなり呆けるので、死ぬまで自分の役割を持ち続けて、健康にいたることがベストというのは皆さん承知されていることでしょう。

そこで、私達ワイズは自宅以外の居場所を持ち、しんどい事を自ら進んで行い、友人を増やし、国内や国外にも出掛け、原稿も分担し提出期限を気にしながら、日々を送ることに感謝して生きる豊かな心を育てている。年を重ね、まだまだ楽をせず体に合わせた活動の出来る場所は、真珠のように輝いています。

2月例会プログラム

2月15日(木) サンホーム

司会	鈴木えみ君
開会点鐘	望月 会長
ワイズソング	一 同
聖句朗読	正野忠之君
スト&ビジター紹介	司会者
会長の時間	望月 会長
インフォメーション	各 担当
食前感謝	新本英二君
食事・歓談	一 同
次期役員選挙	挙管理委員会
次期役員挨拶	
BF プロジェクト	横田・藤井君
切手整理	
誕生・結婚祝	望月 会長
にこにこアワー	尾北君・田保君
YMCAの歌	一 同
閉会挨拶・点鐘	丸尾副会長

会 員 数	23名	ゲスト&ビジター	4名	1月度BFポイント	書き損じハガキ	にこにこファンド
(広義&メネット会員)	1名	メネット&コメット	6名	現金	0円	1月分
会 員 出 席 者	18名	例 会 出 席 者	28名	累計	0円	23,766円
メ ー ク ア ッ プ	1名	役 員 会 出 席 者	12名	切手	320pt	累 計
1 月 の 出 席 率	82.6%	1月の全出席者	40名	累計	35,820pt	累 計
					0円	109,569円

前月の出席率訂正 %を %に訂正いたします。

1月例会報告

2007年1月18日(木)18:30~21:00

出席者(敬称略)

メン 新本・佐古・大谷・丸尾・望月・芳澤・尾北・藤井・横田・田中・山内・中野・伊藤・鈴木・岩坂・初田・宮本・正野

メネット 望月・伊藤・新本・田中・中野・初田

ゲスト&ピジター

今井利子(なかのしま) 松岡虔一・恵美奈博光・(サウス) 加藤寿枝

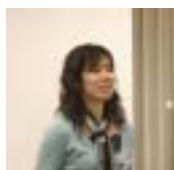
以上 28名



中野義彦君司会のもと定刻に開例。望月会長より新年合同例会への多数の参加お礼と西日本区大会に一人でも多く登録されることを希望される。

インフォメーション

- * 松岡虔一(大阪サウスクラブ)サンホーム10周年記念事業への参加及び当日のお手伝い依頼
- * 今井利子(なかのしまクラブ)2/12(祝)なかのしまクラブ10周年へのお誘い
- * 丸尾欽造 クリスマス献金の継続的なお願い
- * 正野忠之 連絡網(携帯メール)のその後
- * 田中惟介 クリスマス例会報告
- * 芳澤伸之 2/3(土)サンホーム「車椅子清掃」奉仕事業・お年玉切手のお願い



本日のスピーチは東YMC A連絡主事・鈴木えみさんよりアジア漫遊記~シンガポール駐在記~と題しプロジェクターを使った楽しい中にも非常に考えさせられるお話でした。

2004年4月から2カ年の出向で、シンガポールメトロポリタンYMC Aジャパニーズセクションに勤務しておられました。現地では在星日本人の子ども達の体育・水泳・サッカー・野外活動・キャンプの企画運営を行っておられました。また人事交流の点でシンガポール人対象の水

--サンホーム 6階 --

記録 芳澤伸之

泳指導を担当することもあったそうです。昨年はメトロポリタンYMC Aが60周年であり、ジャパニーズセクションも設立からの歴史を一枚のDVDにまとめました。歴代スタッフの写真と年代がわかるように、そして現在行っている在星日本人の子ども達が参加をしているプログラムがわかるような内容となっています。同じYMC Aではありますがやはり異国です。大阪に居た時と一番異なった点は、オフィスにいるスタッフほとんどがクリスチャンであるとのことでした。ですから辛くなったとき、試練が与えられたとき、仕事を始める前に、スタッフであり姉妹である方々と共に祈りをしたとのことでした。職場に祈りあえる仲間がいること、これが鈴木えみさんにとって辛い事もあった出向期間の中でのとても大きな支えとなっておられたようです。



大阪から発つ前に彼女には2つの目標がありました。ひとつは「キリスト教について学びを深める」もうひとつは「見聞を広める」ことでした。主の導きによって2006年3月にバプテスマを授かりイエスを主と仰ぎ日々歩む者になって、日本に帰国することが出来ました。そして、もうひとつの見聞を広める為にわずかな休みでも足を伸ばし近隣諸外国(東チモール、タイ、カンボジア)に旅をしに行かれました。その中で東チモールのことについてお話を聞かせていただくことが出来ました。

2006年9月に東チモールを訪ねました。ここには前年秋に香港に行ったときたまたま時期総主事の末岡さんとお会いする機会があり、研修仲間であった石橋英樹氏とお会いすることが出来ました。この石橋英樹氏は東チモールの地にYMC Aを設立するというアジア・オセアニアYMC A同盟のプロジェクトで、2005年3月より赴任されていらっしゃいます。その方がせっかくいらっしゃるのだし、その地に種を蒔かれ芽吹きだし生まれたてのYMC Aを見ることは、おそらくこれから出会うチャンスはないだろうと思い旅の計画をしました。

東チモールはインドネシアから独立した新しい国です。赤道近くの国ですから基本暑い国で、海が真っ青できれいですが、町の近くの山肌は赤土が見え「山といえば緑」という偏見で見れば何とも寂しい山の姿でした。というのも野良牛、野良ヤギ、野良豚、野良ロバなどが山々の緑を食べつくしてしまうのだそうです。それほど動物が多い。そしてその後には植樹をしようという発想はないそうです。

東チモールYMC Aはわたしが訪ねたときはまだ生後



6ヶ月でした。それでも大変アグレッシブに3つの領域の仕事を実施していらっしゃいました。まず一つ目はサメという集落でのコーヒー豆のフェアトレードプログラムです。東チモールは昔ポルトガルの占領地でその時代にプランテーションの一環でコーヒーの木をたくさん植樹したそうです。当時のコーヒーの木がまだ残っており、それらをよみがえらせてまた豆の収穫が出来るよう木を育て、栽培方法や収穫方法などを農民達に享受しているそうです。そこで栽培されたコーヒー豆は韓国YMCAが買い取っています。その代金が東チモールのコーヒー農園で働く人たちの給与となるのです。二つ目は近隣小学校にパソコンルームを設立していました。韓国YMCA連盟から寄贈されたパソコンを、小中学校生徒だけでなく近隣住民も使えるように整備して部屋を開放しています。またその小学校地域の人なかでパソコン指導ができる人を育成もしたそうです。コンテナを縦に2つ積上げた簡素なパソコンルームですが、子ども達の教育にそして地域の方々の学びのために大きな役割を果たしています。またこのパソコンルームのある小学校に一昨年夏、韓国と日本のコースリーダーがピースワークキャンプで訪れました。小学校に側溝を掘ったり校舎の壁のペンキを塗ったりと、子ども達の学校での生活がより過ごしやすくなるように整備を行ったそうです。昨年は年明けからの内戦でピースワークキャンプ実施は断念されたそうですが、今年はまたアジアのコースが集い、東チモールの地で平和と国際協力を考える機会を持つことができたと願っています。三つ目は、「若者達の生きがいを見つけてY M C Aで見つけるプログラム」です。このような名称があるのかどうかわかりませんが、東チモールの若者の失業率が80%だそうです。原因としては大学に進学したくても国内の大学数が不足している。そして仕事も人口に対して少ないのが現状だそうです。ですから、昼間街中を車で走ると、いたるところに男の人が何をやるわけでもなく座ったり、たむろして話をしたりしています。彼らが怠けているわけではありません。学ぶ場、働く場がないのです。それでそのような若者が少しでも生きるための知識を身に付けたり、希望や夢を抱くことが出来るようにと、石橋さん自らが英語やパソコンを教えたりしているそうです。石橋さんの家には数台パソコンがあります。インターネットは繋がっていませんが、ワードやエクセルを使って簡単な文章や手紙を作成したり、インドネシアや他の国での大学進学に向けて英語を勉強したり、またY M C Aが行っている活動に参加して地域奉仕の楽しさやサメ地域の農村部での働きを覚えたり(彼ら若者は都市部の若者達です。)しているそうです。そのなかで東チモール人の東チモールYMCAスタッフが生まれれば、YMCAのひとつのミッションを達成したことになるんだらうなあ~と感じています。』

大阪YMCAのように125周年をお祝いするYMCAもあれば、まさに今生まれたての東チモールのYMCAもあります。青少年活動や特別養護老人ホームを運営しているのがYMCAではなく、そのような活動はほんの一部で、世界に広がるYMCAは地域の特性を活かし、その地域に住む人々のための活動を手がけていることがわかります。2年間のシンガポール出向という機会を与えてくださったことに非常に感謝しておられた鈴木えみさんです。



にこにこ語録(1月例会)

テーブル起稿 山内信三

望月 今日は鈴木さんのお話をしっかり聞かせていただきました。かねがね色んな事で、ちょこちょこ聞いていたんですが、若い時に、感覚の鋭い時に旅はすべきだなあ、今になると私なんかは物見遊山になってしまって、自分の子供とか孫とかは若い時に旅をさせないといけな~と考えました。



横田 今年の阪和部の新年合同例会のうちに、珍しく私が三等と主人が二等と、それは私が引いた番号で、ちょっとなんか胡散臭いところも有るんですけど、その時の二千元と合わせて入れさせていただきます。

鈴木 今日のご清聴有難うございました。

正野 11月例会以来2ヶ月ぶりに出席しました。その間チャリティラン、クリスマス例会と仕事で失礼しました。久しぶりにY'sにきて知った顔の人が居てるとい感じで、安心感と共にY'sってええなあと改めて正直思いました。

宮本 ちょっと体調を崩してみたり、父親が具合が悪くなったりと、11月からほとんど参加出来ない状態で大変申し訳ございませんでした。具合が悪いのが冬のいつもの私の流れです。今年は寝込むことなく来たのは、YMCAのお陰だと今日は出てこれて嬉しく思っています。障害者の作業所ではなく、作業グループをようやく頑張れるようになりました。二人に加えて今年は新しく命の短い子ですが、もう一人迎え入れることが出来ます。まだ経済的には赤字続きで私が補填をしないとイケない状況ではありますが頑張っていきます。

加藤 今日、宮本さんのヘルパーでまいりました加藤と申します。ありがとうございました。

田中メ 今日は鈴木さんのお話を楽しみに来ました。いつもプリテンをずっと読まして頂いて多分上手にお話されると思っていましたけれど、期待通りでした。若い時にいい経験をされと思います。

伊藤 私はね、鈴木さんはただ者やないと初めから思ってたんです。やっぱり奉仕というものは現場を見た者が雄弁で説得力があるとつくづく思いました。まだまだ話したいことがあると思いますのでまた一つ是非次回作をお願いします。

新本メ どうも有難うございました。とってもいいお話を上手に話され感心しました。

望月メ 今日は、プレゼント有難うございました。年いくのいやなんですけれど仕方がないです。瀬川さんがいらっしゃった時にシンガポールにちょっとよせていただいたんです。きれいな町でした。今日はえみさん有難うございました。

伊藤メ Y'sメンスクラブと関係ないんですけど、心を痛めてる事がこの頃引き続いて起こるので、猪の年になってから東京の方で痛ましい事件が二つあって、昨日は又八尾市の私の所の地元で歩道橋から子供を落としたという、その後、少ししてから、そこを通ったんですけどまあこんな痛ましい事があったかなあというような、い

つもの平常の町でございました。全国放送のNHKで放送され、八尾ってなんてむごい町やなあっていうことがもう有名になってしまったような事で、だからイノシシの年、悲惨なことはこれできりにして頂いて、すばらしいいい事がどんどん起こってくるように、今日は鈴木先生のお話聞いて、東南アジアから日本、ずっと太平洋のぐるり世界にいたるまでいい事がどんどん起こってくることをお祈りして聞かせて頂きました。

初田メ 鈴木さん有難うございました。去年の10月ごろに植えました菜の花がようやく花が咲いてきましたので、去年のメネット会で食事会にいった時の事を思い出しました。望月さんまたよろしく願いたいします。



初田 こんばんは、今月の十日に病院に行くのに家内の自転車に乗って行きまして、私より一寸年上のおじいちゃんに横からぶつけられまして、横にひっくりかえってここ打って、そしたらそば歩いていたおばさんが、オバサンがですよ、「おじいちゃん大丈夫？」って、こけて痛かったことよりその言葉にショック受けて非常に落ち込んでいます。

藤井 こんばんは、今年もよろしく願います。鈴木さんのお話をきいて、私はほんまに生まれてこのかた飛行機に一回しか乗ったこと無いんです。機会があればそんな美しい国へ行ってみたいなあと思っております。



大谷 鈴木さん今日はどうもありがとうございました。飛行機で何時間かといわれてもちょっとピンと来ないんですね。大阪からどこからどこというのであれば大体距離が分かるんですけど、それだけあっちこっち行ってないという証拠なんですけど。

田中 鈴木さんどうも有難うございました。最新のピピ島の話の聞けるかと期待して来たんですけどまだちょっと整理されてないみたいで、やせる思いで阪和部長を引き受けて半年すぎました。ところがちっともやせなくて71キロ口になってしまいましたので、去年の12月から月500グラムのダイエットを目標にしました。年間6キロです。だけど一ヶ月で500グラムって出来そうな気分でしょう。風呂からあがったら増えてくるんです。多分、水吸うてふくれるんやなあと思うんですけどね、今、70.2キロあたりをウロウロして、瞬間的には69.6キロまでいったんですけども、維持するのは非常に難しいぞと思っています。後半さらさらやせる思い出頑張りしますので皆さんよろしく願います。



中野メ 今日鈴木さん良いお話有難うございました。カンボジアとかあっちの方行きたくなりました。

尾北 ご苦労さんでした。なかなか色んな経験をされて、先程写真見てたら知ってる人たくさんいてて多くの人がそういう経験してねんなあと思いました。YMCA 色んな情報入ってきますので、先程お話し聞いた事も見たり聞いたりしているんですけどやっぱりこの現場で実際そこを見てきた鈴木さんから出た言葉、それはインパクトがまた違って来ると思っています。また色んな経験をしてみなさんに色んなこと伝えていただいたらいいと思っています。



新本 私は今アジアの地図、眺めてましているんな事あその中で交錯してました。元々はアジアの土地というのは全てヨーロッパの人々に

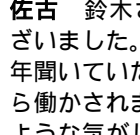


よって制圧されてその帝国主義に涙を流した地域なんです。みんな。全部ヨーロッパ系の国のマークがあので土地には全部ついた。

シンガポールはイギリスの東洋制覇の根拠地でした。香港もイギリスの植民地でした。インドネシアはすべてオランダの植民地、マレー半島はイギリス、ビルマ、インドもイギリス、フィリピンはアメリカのと、そういう事がまず頭の中をよぎりました。それから ABCD 包囲陣というのが日本が戦争に追い込まれた原因の一つであります。そういう事も頭をよぎりました。20年位前にバリ島に1週間泊まった事が有ります。キリスト教の研修施設があってヨーロッパ系の派があそこで伝道をしていた。日本と同じ気候風土で、高い土地に段々畑の水田が開拓されています。オランダに制圧されていた時代に地元の人々は昔からの言い伝えとして、北東の方角から天使が舞い降りてきて、苦難の生活を解放してくれるという伝承があった。日本軍の落下傘部隊がセレベス島やほかに降りた時、日本が助けに来たと思ったとのエピソードがあると聞きました。いろんな事を考えさせられ有難うございました。

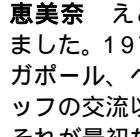
岩坂 今の新本さんのお話を鈴木さんは出発する前に聞いておかれたら良かったと思います。今日の話でうれしかったのは東チモールの話をして頂いた事です。もっともっとあっちこっちで東チモールのことを喋って欲しいなあと思います。

佐古 鈴木さんのお話を聞きまして有難うございました。会社は自由出勤させてあげると去年聞いていたんですが、1月の8日の祭日から働かされましてまだ、なかなか解放されないような気がします。鈴木さんからいろいろ話を聞きましたが、東南アジア、東アジアに行かれた方で、日本のいわゆる大東亜戦争がどうゆう状態であったのか、対日本人の関係が非常に悪かったというような事を聞きましたけれども、やはり戦後の教育が悪かったと、今の若い人たちにもっと戦時中の事をいろいろ教えてないから批判されることがあるんじゃないかと、つくづく感じました。



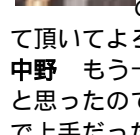
今井 未知の国のお話を聞かせて頂くのはやっぱり楽しくていいです。元気を頂きました。私があちらこちらへ寄せて頂くのは元気を頂いているのだなあと思っています。でも今年は年並みに動こうかなあとい寸反省しております。

恵美奈 えみさんどうもありがとうございました。1972年末から73年にかけてシンガポール、ベトナムを訪問したのです。スタッフの交流以前に空手の前川さんが行かれたそれが最初だったと思います。彼が体育館屋上で一生懸命空手を教えておられる所を拝見したのを36~7年前ですかね、懐しく聞かせて頂きました。ついこないだ、ミャンマーを2週間ばかり訪問したのですが、たくましく、心豊かに生きている子供たち、私も大好きです。これからも、もっともっと仲良くしてゆきたいなあと感じ決意をした年でございました。



松岡 Y's メンズクラブに入ってどの位になるんでしょうか、30年位になるかも分かりませんが、他クラブで誕生祝いを貰ったことが全くないんです。3月ですので必ず出ますので、すこーし今日より色を付けて頂いてよろしく願います。

中野 もう一寸早い目にニコニコ終わるかなと思ったのですが、皆さんが興味あったお話で上手だったので長くなったと思っております。



す。久しぶりの司会でまだちょっと心臓がドキドキしてるんですけど、つぎにマイクを渡したいと思います。

丸尾 新本さんのお話聞いておりました、私のおじがタイに出兵しておりました、その事をお話すると新本さんより長くなりますので止めます。鈴木さんの偉大さを探求したいという事で12月の下旬に信州の戸隠高原に同行する機会が与えられ行ってまいりました。東YMCAに集う子供たちが沢山集まっていた。違う一面でキラキラと輝いて昼間のプログラムに精一杯お働きになって子供たちの安全を見守り、そして夜のプログラム全て終えた後また翌日のために遅くまでミーティングされている光景を目の当たりにしました。YMCAに関わるY'sメンとしてキャンプや活動に一つ位はそういったものを自分の足で、目でのぞいてみるのも必要な事ではないかと思った次第です。



芳澤 今年に入って二つの素晴らしい出来事がありました。一つはこのネクタイをある大先輩から頂きました。その先輩はもう一つ上の先輩から貰った、実は私は三代目なんです。おそらく私が一番よく似合うかと思えます。それからもう一つなんですけれど二人の娘が居ります。不幸にして7年前にその娘たちと別れるという形になってしまったんですが、長女が今年成人式を迎えました。親として本当に感無量でありまして、7年前は自分の中でも精神的にもすごい状態で涙、涙の一年間だったんですけども、5年ほど前にサンホームの喫茶というものと出会って、ちょっとした喫茶のお仕事をさせて頂いたり、河内Y'sというつながりを持たせて頂いたり、また両親がいて兄弟がいて今の自分がある、本当に感謝しています。これはBFと思ったのですが、僕とのつながりはサンホームであると思ったので、何か形で残そうと思ひまして一寸恥ずかしいですけども車椅子を一台寄贈したいと思って、目録を尾北館長にお渡しします。

山内 藤岡さんがシンガポールに居られた十数年前に、東Yでシンガポールの子供とキャンプをしようと呼びかけ、20人位の小中学生を2年にわたって引率しシンガポールを体験してきました。当時は日本人学校には8千人位の小中学生が在籍されシンガポールYの日本人セクションは活発に日常活動が行われていました。またある人と話してましたら、定年後チェンマイに家族ともども居を移して永住といった形で生活しているとの事でした。最近では日本人コミュニティ、ピレッジといった環境で多くの日本人が生活しているとの事です。マレーシアはじめ東南アジアに広く日本人が長期滞在、また永住されています。また、戦争もあり、私のおじも終戦時にマニラの朝日新聞支局長で、アメリカ軍の上陸とともに、日本人200人位のグループで島の北端を目的地に逃避行に入り、山中彷徨の末、30人位が目的地にたどりついたとの話をよく聞かされました。永住、戦争、企業ビジネスと色々な視点での思いが広がりました。

本日のニコニコは23,766円でした。
ご協力に感謝いたします。

阪和部 新年合同例会 報告

記録 初田 稔

新年も明けて間もなくの1月8日に、今年の新年合同例会が和歌山市のホテルグランピアで開催され、森本西日本区理事を始めとして120名を超える参加者で、華やかな雰囲気ですべては終始しました。

田中部長が冒頭の挨拶で、阪和部の全会長が新年合同例会に揃って出席する事は大変珍しく嬉しい事ですと言われました。この先を見よう！が浸透して来た証でしょうか。

楽しい例会を演出して下さいと和歌山クラブの皆さんに心からお礼を申し上げます。本当にお疲れ様でした。有難うございました。



ご挨拶の田中部長 森本西日本区理事



新入の大谷会員を紹介する望月会長



旧交を温める山内さんと井之上和歌山Y総主事



全員集合 本日の記念写真
阪和部旗に包まれた伊藤メネット

大阪河内ワイズメンズクラブ 2007年 2月報

2006年1月25日(木) 東YMCA

第32期 第8回役員会

“全ての活動はEMCに続く!”

日本区強調月間 TOF・FF・CS

出席者 望月・丸尾・岩坂・初田・藤井・芳澤・横田・鈴木・山内・中野・田中・尾北

2月例会 2月15日(木) サンホーム
担当: Bグループ

正野・新本・大藪・丸尾・尾北・横田・鈴木・スピーカー 今月はなし

例会役割分担

司会	鈴木えみ 君	聖句朗読	正野忠之 君
食事手配	横田憲子 君	食膳感謝	新本英二 君
ニコニコ	尾北 昇 君	田保尚芳 君	
受付	丸尾欽造 君		

3月号ブリテン原稿

こーひーぶれいく	藤井恵子 君
役員会報告	岩坂正雄 君
例会報告	正野忠之 君
Yニュース	鈴木えみ 君
サンホームニュース	尾北 昇君
メネットコラム(私の独り言)	増石民子 さん
にこにこテープ起し	大谷美佐子君
巻頭言	芳澤伸之 君

審議事項・連絡事項

2月例会プログラム決定・正野忠之君
BF切手整理 ハサミ持参 年賀当選切手持参
連絡網の充実
声掛けの交わりを深める狙いを大切に(電話を用いて)
2月例会概要・2月15日
次期役員選挙・信任投票
2月12日 なかのしま祝会参加者確認
2月17日 泉北クラブ25周年参加確認
2月10日(土) 第3回阪和部評議会
現役員出席のこと 南YMCA
次期クラブ役員選考委員会の活動報告
本役員会の後の選考委員会で内定する
次期役員候補者名と投票用紙
担当 初田君
2月25日(土)サンホーム10周年祝会
別氏実施案に基づいて最終計画をスタッフで詰める
サンホーム車椅子清掃隊
2月3日 13 15時 担当 芳澤君
クラブ小委員会への追加
Bグループに田保尚芳君 Cグループに宮本桂子君
クリスマス例会の決算報告
1月例会で報告の収支差90,126円をクラブ会計に入金。
実行内容の記録ファイルを作成した。
河内クラブ会計の中間報告
別紙中間報告を承認。費目の知要請を最終決算までに行う
クラブ名義の郵便局口座開設完了
名義 大阪河内ワイズメンズクラブ
代表者 伊藤圭介 代理人 会計(藤井敬子)
公印と通帳は会計が保管
ロビー展報告
予算30,000円、経費25,898円、残金4,102円は

クラブ会計へ返金。西日本区理事・次期西日本区理事・阪和部長・クラブ会長・実行委員長その他より多くの寄附をいただいた。

河内クラブにユースクラブ構想の検討

全員がそれぞれの感想を述べたが、他クラブの事例や日本区が作ったガイドラインなども参考にして、継続検討の機会をつくることにした。

その他

1月27日(土)と2月24日の“和み”は休業。

2月22日(木) 役員会

2月2日(金) 第2例会 プリテン発送



親父の言葉

初田 稔

今から48年前、就職のため大阪に出て来る時のことである。親父とは普段からあまり話しをした記憶が無い程無口な親父であった。

その親父から一言「大阪に行っても、どんな職場に勤めても、自分の最善を尽くせ。何かがあってその職場を離れる事があった時に、彼は良くやったと言われる仕事をしろ」と言われた。以来、その言葉は私の頭から離れない。

入社以来45年間、同じ会社で、自分なりに一生懸命に勤めたつもりではあるが、私がお世話になった諸先輩は、私が退職するまでには全ての方が退職してしまっただけで、勤めた会社はどのような判断を下したかは聞いていない。

従来気せり(セッカチ)で、若い時に車で高速道路を走る時は、追い越す車はあっても追い越される車は無かった。また、石橋を叩いて渡るとよく言われますが、石橋があったのも判らずに渡っていた。自慢する事ではないが、そんな性格が大きく作用していると思います。

ワイズでの仕事を依頼されたときでもその意識が作用する。自分にはたいした取り柄が無いのだから、与えられた役目は手抜きをしないで頑張ろうと思う。私がお手伝いをする事で、皆さんが少しでも楽になり、少しでも喜んでくだされば嬉しい限りであります。

元来私は小心者なのだろうか、期日が気になって仕方がない、当日までに間に合えば結果的には良いんだが、その時になって何か足りないとか、ここが不備だとかあった場合には、少しでも早目に準備をしておけば対応が出来るのではなからうかと考える。

私のモットーは「今日出来ることは明日に伸ばすな」である。

シンガポール珍事情

其の8

東大阪 YMCA 鈴木えみ

河内クラブの皆さんへ

伊藤 圭介

タイ編

3回前のブリテンを読み返すと、「タイについて次回もお話します・・・」と書いてあるにも関わらず、カンボジアに出国してしまっていたようです。1月の例会のときにもお話をさせて頂きましたが、バーンサバイに住む N さんの生い立ちと今までの人生について少しご紹介させて頂きたいと思います。

N さんは 30 才前後の方で、生まれたときは男性で、今は体つきは男性ですが内面的な部分は女性の気持ちを持った方です。何故そう変わってきたのかは彼女の生い立ちにあります。チェンマイに生まれ育ちました。家庭の事情で子どもの頃に家族とはなれて暮らすことになり、路上生活をしていたそうです。いわゆるストリートチルドレンです。その時、ヨーロッパから来た男性に、性的嫌がらせを受けました。その時、気持ちよかったと感じたそうです。その感情を抱いた自分は、「実は女性ではないか？」と考え出し、女性で居る方が心地よくなり今に至っているそうです。ストリートチルドレンも生きるのに必死です。日本での常識は通用しませんから、お金を得るために観光客の大人の男性に体を買われたそうです。余談ですが、対少年はヨーロッパ観光客に買われるのだそうです。(タイの子どもの買春状況は「子どもの値段」という本が出ています。10 年前ぐらいのバンコックの状況をドキュメントで書いています。ご興味のある方はどうぞご一読くださいませ。)対少女や女性は、残念ながら日本人観光客にも買われるそうです。

体を買われるうちに、HIV/AIDS を発症しました。そんなボロボロの体になった N さんをバーンサバイの人が見つけ手厚く看病し続けたそうです。随分深刻な状態のときもあったようですが、手厚い看護と薬のお陰で日常生活を送れるようになり、気分のいいときには絵の才能を活かして、カードを作ったりパティック染めをしてハンカチを作り、それらを売ってバーンサバイの運営費や自分の生活費を得ていらっやいます。今はご自身の過去を振り返り、もっと自分を大切にしていたらよかったと思っいらっやるそうです。でもそう語る彼女の顔は、もう一度命を頂いたバーンサバイでとても生き活きとしそして輝いていました。

HIV/AIDS は長期間関わっていかなければいけません。本人はもちろん、周りのサポーターもあせらずゆっくりと辛抱強く、そして最後まで諦めずに接していらっやる姿がありました。気を張り詰めつつ最後まで辛抱強く・・・というのでは気持ちが萎えてしまいます。そのとき「マイペンライ」というタイ語を、バーンサバイのスタッフ青木宣教師がおっしゃっていたのを思い出します。意味は「どうかなるさ」「大丈夫」だそうです。(状況や話し相手によっていろいろな意味のある言葉だそうです。)そのぐらいゆったりとした気持ちで構えて、この忙しい日本でも過ごしたいものだと思う今日この頃です。

イギリスのワイズメンズワールドの編集者からです。ご覧頂ければ幸いです。

Hi Friends

Just about to start the work on the next issue of Y's Men's World but there is time to email the latest Youngster. Thought you might also like to see the New Year message from our AP here in Europe.

If you have any good stories and pictures for consideration for the YMW, please let me have them. I am short of a good pictures for the front page, your chance to be famous!

Yours in Y'sdom

Wally

wally@ysmen.co.uk

直前国際会長ベンソンさんとメール交流をしておりますが、添付のような日本滞在日記を送付して頂きました。

下記のようにパソコンの具合が悪く、お世話になった方々にメールしましたが、届かない方があるようですので、転送をして欲しい、との依頼です。そして出来るだけ多くのワイズメンズクラブの皆さんへも転送して欲しいとも言われています。

翻訳した上でと言われていますが、そのまま掲載させていただきます。

Dear My Great Friend Y's Man Keizuke Itoh,
Thank you for your quick reply and kind comments.

I forwarded my report to some Japanese Y's Men leaders at a time when my lap top was giving me problems and I am not sure if they received the report. It looks like they may not have received it.

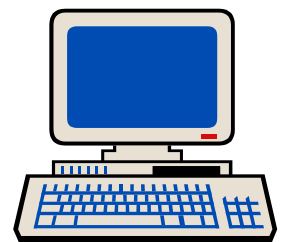
I shall be most grateful if you can translate and send it to all clubs

in Japan or to as many Japanese Y's Men as possible. If you do this I shall be indebted to you for ever.

With very best wishes,

Y'sly and sincerely,

IPIP Ben



大阪河内ワイズメンズクラブ 2007年 2月報



ウエルネス報告です。

東YMCA 鈴木えみ

年末の12月25日～29日の4泊5日で戸隠高原にスキーキャンプに行ってきました。対象は小学生～高校生です。今年は暖冬でニュースにもあったようにスキー場の雪不足が大変心配されましたが、戸隠は全面滑走可ではありませんでしたが、数本のリフトが動いており3日間の講習をお休みすることなく実施することが出来ました。他YMCAのキャンプは予定していたゲレンデが積雪0センチで、やむなく1時間バスに乗って雪のあるゲレンデに毎日移動するなど大変だったようです。そのような状況と比べれば、東YMCAのキャンプは大変恵まれていたと感謝しております。

初めて雪に触るお友達も居ますし、スキー初めての子も達ももちろん居ます。そのようなお友達は、高速道路を下りて雪が見えると「うわぁ!リーダー雪や!」ととても興奮気味。宿の前にバスが停車しバスを降りると、雪に触りたがります。また何度もスキーキャンプに来ているお友達は、次の段階のワッペンを目指すぞとバスのなかからワッペンの話で盛り上がります。

スキーキャンプの醍醐味は、『冬の寒さの中での楽しく活動できる。その1つがスキーであり友達と一緒に過ごすキャンプ生活である。』と考えています。スキーというスポーツを通じて、体力が養われるだけでなく心も育まれます。「初めて坂を滑り降りこけることなく止まれた!」という実感は、自信を生みます。少し滑ることが出来るようになるとスピードがつき、風を切って滑る心地よさを知ります。リフトに乗っていると木の枝についている雪がキラキラ光っているのが、とてもきれいだと知ります。そんな発見や気付きや感動をたくさん受けて自分のものに子ども達はしているので、瞳がキラキラ輝いているのかなとも思います。

人の気付きは十人十色で、感動もまた異なります。指導者はその感動に寄り添い共感し、そして自分自身の感動を周りに伝える努力をし続けることが大切だなあ~と思ったスキーキャンプでした。

SUN HOME NEWS

サンホームではインフルエンザやノロウイルスなどの感染症から入所者を守るため、衛生管理を再度見直し、手洗いの徹底、消毒などに努めております。よろしくご協力ください。

サンホーム 10周年記念礼拝

サンホーム 10周年を記念して、下記のとおり記念礼拝及び感謝のつどいを執り行います。是非ともご出席、またご協力いただきますようお願いいたします。

日 時 : 2007年2月25日(日) 14:00~17:00

場 所 : 東大阪市御厨南 3-1-18
YMCA サンホーム 6階ホール及び1階ロビー

プログラム :

- 第一部 記念礼拝 (14:00~14:30)
表彰 社会福祉奉仕賞 (ボランティア・職員)
- 第二部 イベント (14:30~15:20)
『シャンソンへの誘い』 岩本 節子さん
(河内ワイズメンズクラブ企画によるプログラム)
記念写真撮影
- 第三部 パーティー(15:30~17:00)
若江中学校によるバンド演奏(予定)
立食パーティー

クリスマス献金プログラム

3月18日(日)「ふれあいサロン」

地域の一人暮らしの高齢者の方々にお集まりいただき、食事やレクリエーションで楽しい一時を過ごしていただきます。今年は五百石自治会の対象者をお招きします。



ネットコーナー

連載NO 27 「私の独り言」
「散歩」

初田眞佐子さん

主人が平成3年以降、数々の大病を患ってから、健康の大切さを思い知らされました。健康を維持するために、無理をしないで長続きするものをと、色々考えた中の一つが歩くことです。

主人はそれまでは、目と鼻の先の近くへ行くにも車、とにかく歩くのが嫌いな人でした。

入院の回数が増えて行き、今でも診察に行く度にお医者さんに「歩いているか」「水分は十分に摂っているか」と言われているようです。

主人の現役時代は夕食後の8時から1時間位、定年後は日光浴も兼ねて日中に歩いています。その日の気分や用事によってコースが変わります。早春の沈丁花から始まり、くちなし、金木犀、ひいらぎ等花の良い匂いを嗅ぐのも楽しいし、近くの見事な桜並木も春のコースの一つです。

近所の何人かの人達に、「いつも仲良くていいわね」とか「うらやましいわ」とか言われますが、主人は一人では進んで歩く人ではないし、お互いの健康のためと、歩きながらの一寸した会話は、面と向かっては話せない事でも話せるように思います。

短気でせっかちな主人も、歩くのと自転車で走るときは案外スローです。これからも少しでも長く二人の散歩が続けられたらと思います。

使用済切手をご持参ください

お宅で整理をされている、使用済切手を2月例会にご持参ください。

使用済切手の締切日が近づいておりますので、整理をして送りたいと思います。

数量・目方は問いません。現在集まっている分だけで結構です。よろしくお願い致します。

お年玉付年賀切手をご持参ください

年賀切手は、切手シートに交換してご持参ください。枚数は問いません、何枚でも結構です。

当選番号は

下2けた 64・79 です。

例会で切手整理を致しますので、各自ハサミをご持参ください。

ネット事業通信(7)

今期のネット事業は下記の目標を立てております。支援金ゼロのクラブが無い事を願っております。引き続き皆様方の暖かいご支援をよろしくお願い致します。

西日本区ネット事業予算

国内プロジェクト

ピースリーダーシッププログラム支援金
800,000円

国際プロジェクト

エイズ感染予防支援金「STOP HIV/AIDS」
200,000円

ネット主任活動支援金

200,000円

支援金につきましては、振込用紙をお送りさせていただきましたので、支援金項目をご記入の上、ご送金くださいます様お願い致します。

第二回

サンホーム「車椅子清掃」奉仕事業
(名称・車椅子クリーン・メンテ隊)

昨年に引き続き地域奉仕事業の一環としまして、サンホームのご入居者の車椅子清掃事業及びメンテナンスを行いたいと思います。職員の方々も気がつかれては手入れをされていらっしゃるようですが、なかなか手が回らないのが現状であります。どうか我々の小さな奉仕ではありますが、当日、お手すきの方はご協力お願い申し上げます。又、決して重労働でもありませんので、ネットさんのご参加もお待ちしております。

日時：2007年 2月 3日(土)
13:00～15:00の予定

(全てが清掃出来なくとも2時間以内とします)

場所：サンホーム・ロビー集合
車椅子は3階・4階・5階の各フロアー
(約20台～30台の予定)

持ち物：清掃用具は当方でご用意させていただきますので一切不要です。

昨年度の反省を生かして竹べら等を用意します。

但し、館内が暑い場合がありますので、薄着・汗拭きタオルのご持参がお勧めです。

地域奉仕委員 芳澤 伸之

HAPPY BIRTH DAY

石田 鐵一 1941年2月 2日生
 大藪 芳教 1937年2月26日生
 丸尾 欽造 1938年2月27日生

**WEDDING ANNIVERSARY**

丸尾欽造 & 初子夫妻 2月 3日
 伊藤圭介 & 玲子夫妻 2月 4日
 新本英二 & 力子夫妻 2月 4日
 藤井敬子 & 中夫妻 2月15日
 石田鐵一 & キヨカ夫妻 2月20日

日本区通年強調目標 Public Relations

魅力あるワイズ活動を、あなたの自信ある言葉とワイズパンフレット等を活用し、外に向かって大いにアピールしましょう。
 荒川恭次 広報事業主任 (名古屋グランパスクラブ)

西日本区強調月間 TOF・CS・FF

ワイズにとどまらず、周りの人達にも地域奉仕活動を広めましょう。TOF・CS・FF を理解してもらい、より大きな支援となるように!

石倉 尚 地域奉仕事業主任 (京都キャピタルクラブ)

2月 - 3月の予定**2月**

2月 2日(金) 第2例会 東 YMCA
2月10日(土) 阪和部第3回評議会
 南 YMCA
 2月12日(祝)なかのしまクラブ10周年
2月15日(木)例会 サンホーム6階
 次期役員選挙
 2月17日(土)泉北クラブ25周年
2月22日(木) 役員会 東YMCA
 2月25日(日) サンホーム10周年記念会

3月

3月 2日(金) 第2例会 東 YMCA
 3月 10日(土) 第3回主査会 南 YMCA
3月15日(木)例会 サンホーム6階
 3月17日(土)~18日(日)研修会
 会長・主査研修会 OMMビル
 3月21日(祝)ヴェクセルクラブ10周年
3月22日(木) 役員会 東YMCA
 3月31日(土) なごみ

お知らせ**泉北クラブ25周年のご案内**

**大阪泉北ワイズメンズクラブ
25周年 記念例会のご案内**

大阪泉北クラブ会 会 報 刊

発行委員長 小 島 啓

日時 平成19年2月17日 土曜日 午前10:30より受付開始
 集合場所 大阪天満宮 正門前
 参加費 0円(当日券 大阪天満宮参拝料200円別途) 会場 天満宮
 受付 泉北クラブ会館(天満宮駅西口徒歩10分) 06-6787-3733

てんまつ神社まつり
 大宮梅園観賞 11:00より
 大きなお盆も人形にぶっつけ
 神様に文藝の天降3人のお話を伺います

大阪天満宮06-6787-0025
 http://www.tenmangu.com 詳しいアクセスマップ掲載

創業180年の料亭 **相生楼**

11時開演 全席の席
 12:30より開演
 18:00まで
 06-6787-0001

会費 2,000円

Wind From Kawachi

春睡眠を覚えず。朝の起床時に思います。起きるのには少し寒いからもう少し寝ていようと、この時間が至福の時間です。時間と余裕が出来てと言うか時間が自由に使える事は、気持ちに余裕を与えてくれます。年寄りには早起きと相場が決まっているようですが、私はいつまでも寝ていられます。(M.H)

第32期クラブ役員

会長:望月 強 副会長:丸尾 欽造 書記:岩坂 正雄・初田 稔 会計:藤井 敬子・芳澤 伸之
 メネット会長:望月 治子 直前会長:横田 憲子 連絡主事:鈴木 えみ

例会場・役員会場 : サンホーム 東大阪市御厨南3-1-18 TEL 06-6787-3733
 大阪河内クラブホームページアドレス <http://www.Kisweb.ne.jp/kawachi-ys/>